



平成23年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成22年11月11日

上場取引所 東大

上場会社名 日本伸銅

コード番号 5753 URL <http://www.nippon-shindo.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 八木 善治

問合せ先責任者 (役職名) 管理副本部長 (氏名) 谷口 庸三郎

TEL 072-229-0346

四半期報告書提出予定日 平成22年11月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	10,130	89.6	644	370.9	639	219.2	371	521.4
22年3月期第2四半期	5,342	55.7	136	39.0	200	16.6	59	64.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	15.72	
22年3月期第2四半期	2.53	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	25,386	4,813	19.0	203.81
22年3月期	22,704	4,602	20.3	194.91

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 4,813百万円 22年3月期 4,602百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期		0.00		3.00	3.00
23年3月期		0.00			
23年3月期(予想)				3.00	3.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,000	33.5	880	59.6	840	34.4	500	58.3	21.17

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他 (詳細は、[添付資料]P.4「その他の情報」をご覧ください。)

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 社 (社名)、除外 社 (社名)

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

会計基準等の改正に伴う変更 有

以外の変更 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期2Q 23,700,000株 22年3月期 23,700,000株

期末自己株式数 23年3月期2Q 84,791株 22年3月期 83,932株

期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期2Q 23,615,469株 22年3月期2Q 23,618,339株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

平成23年3月期の前半は、ギリシャに端を発した金融不安の再燃をきっかけにEU各国の財政不安がより一層騒がれ、国債の格付けが低下する中、為替市場でのユーロ安、ドル安を促し、結果として円高推移を続け、商品市況安より4月初めには7,900ドルをつけていた銅相場も6月中旬には6,000ドル近辺まで下落しました。その後は上昇を続ける金相場同様、銅相場は中国を中心に潜在的に旺盛な需要が期待され、また将来的には銅鉱石の品位低下に基づく銅鉱石の供給不足懸念を背景に、投機筋より資金が流入しやすい環境を作り出しておりました。その結果、下げていた銅相場は上げに転じ、9月末時点では8,000ドル超えの相場となりました。その間の為替相場も1ドル94円から89円、さらに84円と一層円高に推移し現在に至っております。

伸銅業界全体の黄銅棒の生産につきましては、3月末に16,200トン/月まで上昇した水準を、その後も安定的に維持し、上半期全般にわたってこの水準を保つことが出来ました。住宅着工の低迷は依然として続いているものの、エコ減税を背景に自動車や地上デジタルへの切り替えを1年後に控えた液晶テレビの好調な販売、記録更新が続出の猛暑によるエアコン需要、また輸出を中心とした建設機械向けの部品などは比較的好調に推移し、リーマンショック以前の水準に戻り、安定的な生産量を維持することが出来ました。

当社グループにつきましては、当第2四半期連結会計期間の伸銅品の出荷量は前年同四半期連結会計期間比33.0%増加しました。原料価格の面でも前年同四半期に比べ価格は16%程度上昇しました。それらの要因により当第2四半期連結会計期間の業績は、売上高は4,734百万円、営業利益281百万円、経常利益273百万円となり、四半期純利益は164百万円(前年同四半期比+50百万円)と大幅に増加しました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、10,130百万円と前年同期比89.6%増加となりました。販売量の回復と製品価格の上昇が前年同期比増加の主たる要因です。

収益面につきましては、出荷数量の大幅な回復およびコストの節減により、営業利益は644百万円(前年同期比+507百万円)となりました。経常利益についても639百万円(前年同期比+438百万円)と大幅に回復しました。その結果、当第2四半期連結累計期間の純利益については371百万円(前年同期比+311百万円)と期初の予想から大幅に改善いたしました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

(伸銅品部門)

当社グループの主力商品である伸銅品は前年同連結累計期間比、販売数量および販売価格の上昇により、伸銅品の売上高は9,086百万円と(前年同期比+4,334百万円)前年同期比91.2%増加しました。黄銅棒、黄銅線、電子素材のコネクター線の販売も順調に回復しました。

(伸銅加工品部門)

輸出向け建設機械の需要の回復を背景に、当社の高付加価値製品である切削品、鍛造品などの受注も順調に推移し、販売数量も前年同期比89.1%増加し、売上高は372百万円と前年同期比182.0%の増加となりました。

(非鉄金属原料部門)

非鉄金属原料も販売数量は前年同期比25.9%と増加、売上高も672百万円と前年同期比46.5%増加しました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

財政状態の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ、2,682百万円増加し、25,386百万円となりました。

流動資産は、有価証券が償還したため2,093百万円減少したことなどにより前連結会計年度末に比べ1,676百万円減少の10,105百万円となりました。

固定資産は、新工場関係の設備投資により建設仮勘定が4,824百万円増加したことなどにより前連結会計年度末に比べ4,358百万円増加の15,281百万円となりました。

負債は、原料購入単価の上昇による運転資金の増加および新工場設備投資により借入金が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ2,472百万円増加し、20,573百万円となりました。

純資産は、主に四半期純利益の計上による利益剰余金の300百万円の増加により、前連結会計年度末に比べ210百万円増加の4,813百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ1.3%減少の19.0%となりました。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は前連結会計年度末に比べ7百万円増加し1,398百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は945百万円(前年同四半期連結累計期間は330百万円の収入)となりました。これは主に、売上債権の375百万円の増加と、仕入債務が913百万円増加したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1,868百万円(前年同四半期連結累計期間は1,734百万円の支出)となりました。これは主に、収用に係る設備取得による支出4,478百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は931百万円(前年同四半期連結累計期間は22百万円の支出)となりました。これは主に、短期借入金の純増減額1,171百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間における業績動向を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成22年5月12日に公表いたしました平成23年3月期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日別途開示する「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予想を利用する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

会計処理基準に関する事項の変更

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

表示方法の変更

（四半期連結損益計算書関係）

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づき財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用に伴い、当第2四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,456,331	1,448,868
受取手形及び売掛金	5,337,215	4,971,330
有価証券	1,202,366	3,295,709
商品及び製品	606,529	306,634
仕掛品	538,485	866,928
原材料及び貯蔵品	810,308	435,376
繰延税金資産	87,516	55,968
その他	69,411	402,634
貸倒引当金	2,724	1,543
流動資産合計	10,105,440	11,781,907
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,030,856	1,030,636
減価償却累計額	884,718	877,815
建物及び構築物(純額)	146,137	152,820
機械装置及び運搬具	7,386,971	7,357,643
減価償却累計額	6,612,881	6,514,221
機械装置及び運搬具(純額)	774,089	843,422
土地	4,208,632	4,208,632
建設仮勘定	7,257,903	2,433,229
その他	369,605	369,605
減価償却累計額	334,619	325,959
その他(純額)	34,985	43,645
有形固定資産合計	12,421,748	7,681,749
無形固定資産		
ソフトウェア	629	192
施設利用権等	2,226	2,226
無形固定資産合計	2,855	2,418
投資その他の資産		
投資有価証券	672,515	1,054,877
長期未収入金	2,137,091	2,137,091
その他	49,323	48,728
貸倒引当金	2,476	2,476
投資その他の資産合計	2,856,453	3,238,220
固定資産合計	15,281,056	10,922,388
資産合計	25,386,497	22,704,296

(単位:千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,894,396	980,898
短期借入金	3,534,156	2,237,994
未払消費税等	23,144	1,423
未払費用	125,561	117,871
未払法人税等	290,935	42,536
賞与引当金	77,400	68,740
その他	463,665	94,555
流動負債合計	6,409,259	3,544,019
固定負債		
長期借入金	1,848,902	2,140,742
長期仮受金	501,244	571,640
退職給付引当金	186,991	201,756
役員退職慰労引当金	71,630	79,980
環境対策引当金	90,000	90,000
繰延税金負債	554,223	557,147
再評価に係る繰延税金負債	846,355	846,355
圧縮記帳特別勘定	10,045,675	10,045,675
その他	19,091	24,013
固定負債合計	14,164,112	14,557,310
負債合計	20,573,372	18,101,329
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,595,250	1,595,250
資本剰余金	290,250	290,250
利益剰余金	1,818,021	1,517,607
自己株式	15,565	15,435
株主資本合計	3,687,956	3,387,672
評価・換算差額等		
土地再評価差額金	1,233,653	1,233,653
繰延ヘッジ損益	18,131	7,969
その他有価証券評価差額金	90,352	10,389
評価・換算差額等合計	1,125,169	1,215,294
純資産合計	4,813,125	4,602,966
負債純資産合計	25,386,497	22,704,296

(2) 四半期連結損益計算書
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	5,342,433	10,130,670
売上原価	4,789,663	9,027,772
売上総利益	552,770	1,102,897
販売費及び一般管理費	415,817	457,970
営業利益	136,952	644,927
営業外収益		
受取利息	29,854	25,017
受取配当金	17,929	10,143
助成金収入	28,764	-
その他	8,117	1,774
営業外収益合計	84,666	36,935
営業外費用		
支払利息	16,806	33,542
売上割引	3,116	7,811
手形売却損	354	1,329
その他	1,144	174
営業外費用合計	21,421	42,858
経常利益	200,197	639,004
特別利益		
貸倒引当金戻入額	28	-
固定資産売却益	-	5
特別利益合計	28	5
特別損失		
ゴルフ会員権売却損	1,000	270
ゴルフ会員権評価損	-	3,080
投資有価証券売却損	24,294	-
環境対策引当金繰入額	90,000	-
特別損失合計	115,294	3,350
税金等調整前四半期純利益	84,931	635,660
法人税、住民税及び事業税	2,160	289,766
法人税等調整額	23,025	25,368
法人税等合計	25,185	264,398
少数株主損益調整前四半期純利益	-	371,262
四半期純利益	59,745	371,262

【第2四半期連結会計期間】

(単位:千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)
売上高	3,070,937	4,734,989
売上原価	2,741,275	4,220,174
売上総利益	329,661	514,815
販売費及び一般管理費	209,025	233,135
営業利益	120,636	281,679
営業外収益		
受取利息	17,363	11,868
受取配当金	3,461	3,466
助成金収入	9,439	-
その他	2,992	1,071
営業外収益合計	33,256	16,406
営業外費用		
支払利息	8,324	19,152
売上割引	2,019	4,065
手形売却損	202	1,068
その他	1,118	135
営業外費用合計	11,665	24,421
経常利益	142,227	273,663
特別利益		
固定資産売却益	-	5
特別利益合計	-	5
特別損失		
ゴルフ会員権売却損	1,000	220
投資有価証券売却損	1,572	-
特別損失合計	2,572	220
税金等調整前四半期純利益	139,654	273,449
法人税、住民税及び事業税	1,082	90,374
法人税等調整額	24,513	18,781
法人税等合計	25,596	109,155
少数株主損益調整前四半期純利益	-	164,293
四半期純利益	114,058	164,293

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	84,931	635,660
減価償却費	122,831	115,883
貸倒引当金の増減額(は減少)	3,144	1,181
退職給付引当金の増減額(は減少)	23,350	14,765
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	24,400	8,350
環境対策引当金の増減額(は減少)	90,000	-
受取利息及び受取配当金	47,783	35,161
支払利息	16,806	33,542
売上割引	3,116	7,811
投資有価証券売却損益(は益)	24,294	-
有形固定資産売却損益(は益)	-	5
ゴルフ会員権売却損益(は益)	1,000	270
ゴルフ会員権評価損	-	3,080
売上債権の増減額(は増加)	91,386	375,025
たな卸資産の増減額(は増加)	286,629	346,384
仕入債務の増減額(は減少)	196,269	913,498
未払消費税等の増減額(は減少)	35,610	21,721
その他	99,139	29,783
小計	315,145	982,740
利息及び配当金の受取額	36,793	35,983
利息の支払額	17,268	33,804
法人税等の支払額	3,947	39,840
営業活動によるキャッシュ・フロー	330,723	945,078
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	23,000	23,000
定期預金の払戻による収入	23,000	23,000
有価証券の取得による支出	1,092,495	-
有価証券の償還による収入	-	2,700,000
有形固定資産の取得による支出	160,703	7,099
有形固定資産の売却による収入	-	47
無形固定資産の取得による支出	-	520
投資有価証券の取得による支出	932,768	3,033
投資有価証券の売却による収入	788,246	-
保険積立金の解約による収入	2,224	-
ゴルフ会員権の取得による支出	-	10,000
ゴルフ会員権の売却による収入	1,000	1,000
収用に係る経費分による支出	45,248	70,396
収用に係る設備取得のための支出	294,315	4,478,951
その他	-	69
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,734,060	1,868,883

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	30,000	1,171,667
長期借入れによる収入	550,000	450,000
長期借入金の返済による支出	596,908	617,345
リース債務の返済による支出	5,305	5,049
配当金の支払額	85	67,873
自己株式の取得による支出	-	130
財務活動によるキャッシュ・フロー	22,299	931,268
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	1,425,636	7,463
現金及び現金同等物の期首残高	2,599,324	1,390,868
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,173,687	1,398,331

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)
該当事項はありません。